

担当課	担当	担当者	連絡先
(公財)岐阜県産業経済振興センター	調査広報担当	丹羽 俊二	058-277-1085

## 景況アンケート調査結果

**概況：景況感は、全体で調査史上最長の9期連続の低下。**

**下げ幅はリーマンショックを超える水準。**

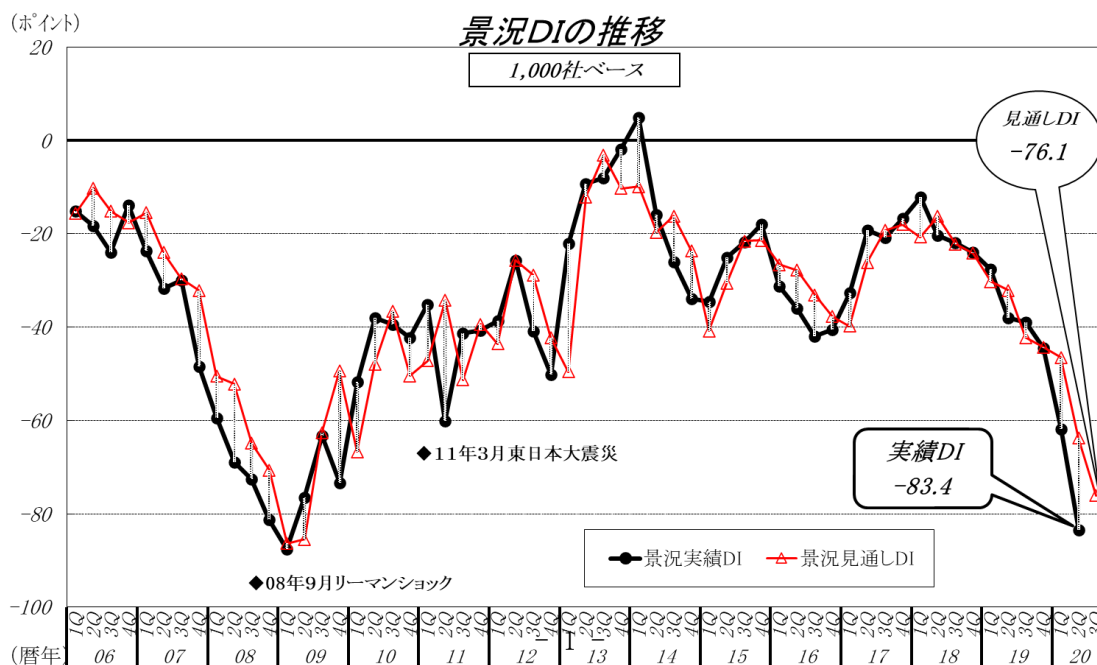
**来期は、現時点では、製造業、非製造業ともに上昇の見通しであるが、回復には一定の期間を要する見込み。**

### 【2020年 4 - 6月期実績】

- 景況DIは9期連続の低下
- 売上高DIは6期連続の低下、輸出向け売上高DIは2期連続の低下
- 生産量DI、受注量DIは6期連続の低下、在庫量DIは2期連続の低下
- 製品販売価格DIは2期連続の低下、原材料仕入価格DIは2期連続の低下（改善）、採算DIは4期連続の低下
- 資金繰りDIは4期連続の悪化、借入れ難易感DIは2期ぶりに改善
- 設備投資実施は2期連続の低下、設備投資意欲DIは6期連続の低下
- 雇用状況DIは6期連続で「不足感」が縮小（原数値：0.7）

### 【2020年 7 - 9月期見通し】

- 景況DIは製造業、非製造業ともに上昇の見通し



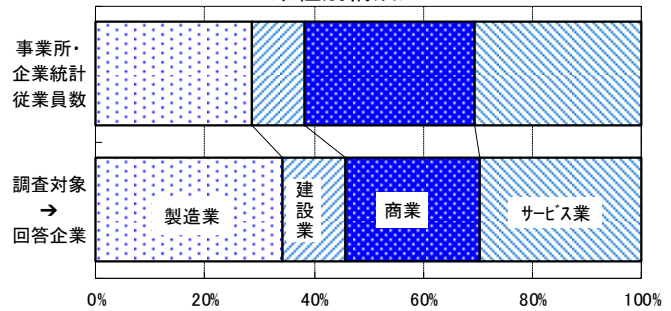
## 調査概要

調査機関	(公財)岐阜県産業経済振興センター
調査時点	2020年6月1日
対象	岐阜県内企業経営者
サンプル数	1000
有効回答数	615
有効回答率	61.5%

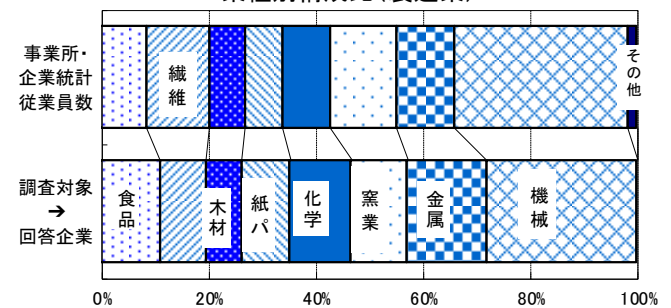
### 1 業種別

区分	調査サンプル		事業所・企業統計		
	回答 件数	構成比 (%)	従業員数	構成比 (%)	
2 区分	合計	615	100.0	886,041	100.0
	製造業	210	34.1	253,924	28.7
	非製造業	405	65.9	632,117	71.3
4 区分	合計	615	100.0	886,041	100.0
	製造業	210	34.1	253,924	28.7
	建設業	71	11.5	84,396	9.5
	商業	151	24.6	277,851	31.4
	サービス業	183	29.8	269,870	30.5
業 種 別	合計	615	100.0	886,041	100.0
	食品	23	3.7	21,461	2.4
	繊維・衣服	18	2.9	29,408	3.3
	木材・家具	14	2.3	17,018	1.9
	紙・パルプ・印刷	19	3.1	17,808	2.0
	化学・プラスチック	24	3.9	22,862	2.6
	窯業土石	22	3.6	31,402	3.5
	金属製品	31	5.0	26,907	3.0
	機械	59	9.6	82,461	9.3
	その他	0	-	4,597	0.5
	建設	71	11.5	84,396	9.5
	運輸・通信	34	5.5	44,569	5.0
	卸売	49	8.0	59,752	6.7
	小売	86	14.0	148,115	16.7
飲食店	16	2.6	69,984	7.9	
サービス	149	24.2	225,301	25.4	

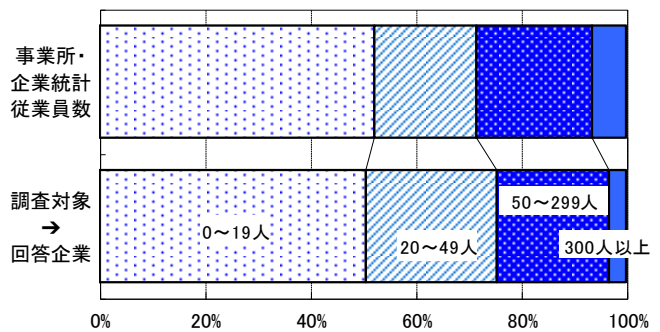
業種別構成比



業種別構成比(製造業)



従業員数規模別構成比



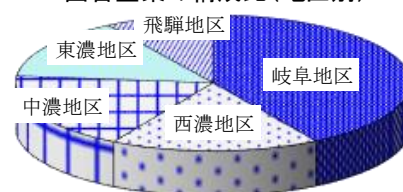
### 2 従業員数規模別

区分	調査サンプル		事業所・企業統計	
	回答 件数	構成比 (%)	従業員数	構成比 (%)
合計	615	100.0	886,041	100.0
0~19人	310	50.4	462,410	52.2
20~49人	154	25.0	170,399	19.2
50~299人	130	21.1	196,045	22.1
300人以上	21	3.4	57,187	6.5

### 3 地区別

区分	回答	構成比	従業員数	構成比
合計	615	100.0	886,041	100.0
岐阜地区	254	41.3	344,125	38.8
西濃地区	105	17.1	158,313	17.9
中濃地区	112	18.2	159,467	18.0
東濃地区	89	14.5	144,816	16.3
飛騨地区	55	8.9	79,320	9.0

回答企業の構成比(地区別)



(注) 2005年4-6月期調査より、調査対象企業数を250社から1,000社に増やしたため、厳密には接続しない。

構成比については、各区分単位で小数点以下第2位を四捨五入して求めたので、その合計が100%とならないことがある。

#### 調査対象企業の決定方法

- 1 岐阜県「事業所・企業統計調査(平成13年)」の業種別従業員数の構成比を基準とする。
- 2 従来からの調査対象企業に加えて、新たに当センターの企業情報データベースから上記基準にて抽出した。

## 調査結果の概要

### 「岐阜県の景況調査（2020年 第2四半期）」

概況：景況感は、全体で調査史上最長の9期連続の低下。下げ幅はリーマンショックを超える水準。

来期は、現時点では、製造業、非製造業ともに上昇の見通しであるが、回復には一定の期間を要する見込み。

#### 今回の調査結果の概要

景況DIは、製造業が11.3ポイント低下、非製造業が26.9ポイント大幅に低下した結果、全体で21.6ポイント大幅に低下（原数値はマイナス83.4）した。来期の見通しは、製造業で8.8ポイント上昇、非製造業で6.4ポイント上昇し、全体では7.3ポイント上昇を予想している。

業種4区分で見ると、「製造業」（▲11.3ポイント）、「建設業」（▲34.9ポイント）、「商業」（▲19.4ポイント）、「サービス業」（▲30.3ポイント）の4業種全てで大幅に低下した。

製造業を業種別にみると、「木材・家具」（▲35.7ポイント）、「化学・プラスチック」（▲17.9ポイント）、「繊維・衣服」（▲15.0ポイント）、「食品」（▲12.7ポイント）、「金属製品」（▲11.4ポイント）が大幅に低下、「機械」（▲9.3ポイント）、「窯業土石」（▲2.8ポイント）、「紙・パルプ・印刷」（▲1.8ポイント）が低下した。

非製造業を業種別にみると、「サービス（余暇関連）」（▲35.5ポイント）、「建設」（▲34.9ポイント）、「サービス（企業関連）」（▲31.3ポイント）、「飲食店」（▲30.8ポイント）、「卸売」（▲23.4ポイント）、「小売」（▲15.1ポイント）の全業種が大幅に低下した。

生産活動に関わるDIでは、売上高DIは製造業、非製造業ともに低下し、製造業の輸出DIも低下した。生産量DI、受注量DI、在庫量DIについても製造業、非製造業ともに低下した。

来期の見通しは、製造業では売上高DI、輸出DI、生産量DI、受注量DI、在庫量DIの全てで低下を予想している。非製造業においても売上高DI、生産量DI、受注量DI、在庫量DIの全てで低下を予想している。

販売活動に関わるDIでは、製造業、非製造業ともに仕入価格DIが低下（改善）、販売価格DI、採算DIが低下した。

来期の見通しは、製造業、非製造業ともに仕入価格DIは低下（改善）、販売価格DI、採算DIは低下を予想している。

資金繰りに関わるDIでは、製造業、非製造業ともに資金繰りDIは悪化し、借入難易感DIは改善している。

来期の見通しは、製造業、非製造業ともに資金繰りDIと借入難易感DIの両方で悪化を予想している。

設備投資実施状況は全体で27.3%となり低下した。設備投資意欲DIは、製造業、非製造業ともに低下した。

来期の見通しは、設備投資実施状況は全体で24.5%と低下、設備投資意欲DIは製造業、非製造業ともに上昇を予想している。

雇用状況DIは、製造業、非製造業ともに「不足感」が縮小した。

来期の見通しは、製造業は横ばい、非製造業では「不足感」の拡大を予想している。

雇用状況DIに関しては、原数値0.7と人員過剰の状況となっている。

## D I 別の状況

景況D Iは、製造業で 11.3 ポイント低下、非製造業で 26.9 ポイント低下し、全体で 21.6 ポイント低下し 9 期連続で低下した。製造業では「木材・家具」(▲35.7 ポイント)、「化学・プラスチック」(▲17.9 ポイント)、「繊維・衣服」(▲15.0 ポイント)、「食品」(▲12.7 ポイント)、「金属製品」(▲11.4 ポイント)が大幅に低下した。非製造業では「サービス (余暇関連)」(▲35.5 ポイント)、「建設」(▲34.9 ポイント)、「サービス (企業関連)」(▲31.3 ポイント)、「飲食店」(▲30.8 ポイント)、「卸売」(▲23.4 ポイント)、「小売」(▲15.1 ポイント)の全業種で大幅に低下した。

来期は製造業が 8.8 ポイント上昇、非製造業が 6.4 ポイント上昇し、全体で 7.3 ポイントの上昇を予想している。

売上高D Iは、製造業で 18.7 ポイント低下し、非製造業は 32.1 ポイント低下した。全体で 27.8 ポイント低下し 6 期連続で低下した。製造業では「化学・プラスチック」(▲39.9 ポイント)、「木材・家具」(▲35.7 ポイント)、「金属製品」(▲32.1 ポイント)、「紙・パルプ・印刷」(▲18.4 ポイント)、「機械」(▲17.6 ポイント)が大幅に低下した。非製造業では「サービス (余暇関連)」(▲52.4 ポイント)、「飲食店」(▲46.2 ポイント)「サービス (企業関連)」(▲40.1 ポイント)、「運輸・通信」(▲34.8 ポイント)、「建設」(▲26.7 ポイント)、「小売」(▲25.1 ポイント)、「卸売」(▲13.8 ポイント)の全業種で大幅に低下した。来期は、製造業が 12.0 ポイント低下、非製造業が 5.4 ポイント低下し、全体で 7.5 ポイントの低下を予想している。

輸出向け売上高D Iは、全体で 18.1 ポイント低下し、2 期連続で低下した。業種別では「紙・パルプ・印刷」(28.6 ポイント)が大幅に上昇、「窯業土石」(7.6 ポイント)が上昇した。一方で「食品」(▲67.1 ポイント)、「繊維・衣服」(▲54.0 ポイント)、「木材・家具」(▲33.4 ポイント)、「機械」(▲19.0 ポイント)が大幅に低下、「化学・プラスチック」(▲7.8 ポイント)、「金属製品」(▲5.7 ポイント)が低下した。来期は、全体で 6.2 ポイントの低下を予想している。

生産量D Iは、製造業で 19.5 ポイント低下、非製造業で 26.4 ポイント低下した。全体で 21.4 ポイント低下し、6 期連続で低下した。「食品」(▲44.0 ポイント)、「紙・パルプ・印刷」(▲39.8 ポイント)、「化学・プラスチック」(▲35.7 ポイント)「金属製品」(▲23.3 ポイント)、「木材・家具」(▲18.6 ポイント)が大幅に低下した。来期は、製造業が 10.8 ポイント低下、非製造業 (「建設」) が 5.7 ポイント低下し、全体で 9.5 ポイントの低下を予想している。

受注量D Iは、製造業で 13.7 ポイント低下、非製造業で 32.5 ポイント低下し、全体で 26.3 ポイント低下し 6 期連続で低下した。製造業では「紙・パルプ・印刷」(▲29.3 ポイント)、「化学・プラスチック」(▲26.8 ポイント)「食品」(▲19.6 ポイント)、「金属製品」(▲18.7 ポイント)、「木材・家具」(▲15.7 ポイント)が大幅に低下した。非製造業では「サービス (余暇関連)」(▲48.4 ポイント)、「運輸・通信」(▲41.9 ポイント)、「サービス (企業関連)」(▲40.2 ポイント)、「飲食店」(▲38.5 ポイント)、「卸売」(▲29.8 ポイント)、「小売」(▲23.5 ポイント)、「建設」(▲18.1 ポイント)と全業種で大幅に低下した。来期は製造業が 9.4 ポイント低下、非製造業が 1.8 ポイント低下し、全体で 4.5 ポイントの低下を予想している。

在庫量D Iは、製造業で 3.3 ポイント低下、非製造業で 7.5 ポイント低下した。全体で 5.3 ポイント低下し 2 期連続で低下した。製造業では「繊維・衣服」(41.8 ポイント)が大幅に上昇し、「紙・パルプ・印刷」(▲27.1 ポイント)、「化学・プラスチック」(▲24.7 ポイント)、「木材・家具」(▲13.5 ポイント)が大幅に低下した。非製造業では「飲食店」(▲16.6 ポイント)が大幅に低下した。来期は、製造業が 12.6 ポイント低下、非製造業が 8.7 ポイント低下し、全体で 10.6 ポイントの低下を予想している。

製品販売価格D Iは、製造業で 11.5 ポイント低下、非製造業で 20.0 ポイント低下し、全体で 17.1 ポイント低下し 2 期連続で低下した。製造業では「繊維・衣服」(▲52.4 ポイント)、「食品」(▲21.7 ポイント)、「木材・家具」(▲21.4 ポイント)、「窯業土石」(▲17.4 ポイント)が大幅に低下した。非製造業では「サービス (余暇関連)」(▲36.7 ポイント)、「運輸・通信」(▲33.7 ポイント)、「飲食店」(▲32.7 ポイント)、「卸売」(▲21.0 ポイント)、「小売」(▲20.0 ポイント)、「サービス (企業関連)」(▲18.0 ポイント)が大幅に低下した。来期は、製造業が 7.7 ポイント低下、非製造業が 3.0 ポイント低下し、全体で 4.5 ポイントの低下を予想している。

原材料仕入価格DIは、製造業で15.4ポイント低下(改善)、非製造業で27.5ポイント低下(改善)し、全体で23.3ポイント低下(改善)した。製造業では「繊維・衣服」(▲39.7ポイント)、「紙・パルプ・印刷」(▲33.0ポイント)、「木材・家具」(▲32.8ポイント)、「窯業土石」(▲26.8ポイント)、「機械」(▲11.3ポイント)が大幅に低下(改善)した。非製造業では「運輸・通信」(▲60.4ポイント)、「サービス(余暇関連)」(▲47.5ポイント)、「小売」(▲30.6ポイント)の他、全業種で大幅に低下(改善)した。来期は、製造業が0.4ポイント低下(改善)、非製造業が3.5ポイント低下(改善)し、全体で2.5ポイントの低下(改善)を予想している。

採算DIは、製造業で15.3ポイント低下、非製造業で20.8ポイント低下し、全体で19.0ポイント低下した。製造業では「窯業土石」(16.2ポイント)が大幅に上昇したものの、「食品」(▲42.7ポイント)、「化学・プラスチック」(▲27.5ポイント)、「金属製品」(▲25.2ポイント)、「繊維・衣服」(▲13.5ポイント)、「機械」(▲11.6ポイント)が大幅に低下した。非製造業では「運輸・通信」(▲43.2ポイント)、「飲食店」(▲38.5ポイント)、「サービス(余暇関連)」(▲29.3ポイント)、「サービス(企業関連)」(▲26.1ポイント)、「卸売」(▲22.5ポイント)、「建設」(▲10.7ポイント)が大幅に低下した。来期は、製造業が5.6ポイント低下、非製造業が2.4ポイント低下し、全体で3.4ポイントの低下を予想している。

資金繰りDIは、製造業で15.1ポイント悪化、非製造業で21.5ポイント悪化、全体で19.4ポイント悪化し、4期連続で悪化した。製造業では「木材・家具」(▲35.7ポイント)、「化学・プラスチック」(▲23.9ポイント)、「食品」(▲22.9ポイント)、「窯業土石」(▲21.5ポイント)、「金属製品」(▲12.1ポイント)が大幅に悪化した。非製造業では「サービス(余暇関連)」(▲49.3ポイント)、「運輸・通信」(▲44.7ポイント)、「飲食店」(▲40.0ポイント)、「サービス(企業関連)」(▲21.7ポイント)、「卸売」(▲14.8ポイント)、「小売」(▲14.7ポイント)が大幅に悪化した。来期は、製造業が2.3ポイント悪化、非製造業が4.7ポイント悪化し、全体で3.8ポイントの悪化を予想している。

借入れ難易感DIは、製造業で9.5ポイント改善、非製造業で0.8ポイント改善し、全体で3.6ポイント改善し、2期ぶりに改善した。製造業では「紙・パルプ・印刷」(27.8ポイント)、「繊維・衣服」(24.6ポイント)、「食品」(19.8ポイント)、「化学・プラスチック」(13.5ポイント)が大幅に改善した。非製造業では「サービス(余暇関連)」(16.5ポイント)が大幅に改善したが、「通信・運輸」(▲14.7ポイント)が大幅に悪化した。来期は、製造業が15.5ポイント悪化、非製造業が14.9ポイント悪化し、全体で15.0ポイントの悪化を予想している。

設備投資実施(%)は、製造業で5.9ポイント低下、非製造業で2.0ポイント低下、全体で3.1ポイント低下し、2期連続で低下した。製造業では「機械」(▲13.5ポイント)、「食品」(▲13.3ポイント)、「紙・パルプ・印刷」(▲12.8ポイント)が大幅に低下した。非製造業では「飲食店」(22.1ポイント)が大幅に上昇した一方で「建設」(▲11.2ポイント)は大幅に低下した。来期は、製造業が1.6ポイント低下、非製造業が3.3ポイント低下し、全体で2.8ポイントの低下を予想している。

設備投資意欲DIは、製造業で28.1ポイント低下、非製造業で28.0ポイント低下し、全体で28.2ポイント低下し6期連続で低下した。製造業では「繊維・衣服」(▲43.9ポイント)、「食品」(▲38.2ポイント)、「化学・プラスチック」(▲31.5ポイント)、「金属製品」(▲29.7ポイント)、「機械」(▲27.0ポイント)の他、全業種で大幅に低下した。非製造業では「建設」(▲42.6ポイント)、「サービス(余暇関連)」(▲36.6ポイント)、「サービス(企業関連)」(▲34.8ポイント)、「卸売」(▲29.3ポイント)の他、全業種で大幅に低下した。来期は、製造業が8.3ポイント上昇、非製造業が1.7ポイント上昇し、全体で4.0ポイントの上昇を予想している。

雇用状況DIは、製造業で40.4ポイント改善、非製造業で26.6ポイント改善し、全体で31.8ポイント改善し6期連続で「不足感」が縮小した。製造業では「木材・家具」(65.1ポイント)、「化学・プラスチック」(59.6ポイント)、「金属製品」(48.7ポイント)の他、全業種で「不足感」が大幅に縮小した。非製造業では「サービス(余暇関連)」(62.2ポイント)、「飲食店」(52.5ポイント)、「運輸・通信」(36.4ポイント)の他、全業種で「不足感」が大幅に縮小した。来期は、製造業が横ばい、非製造業が3.3ポイント悪化、全体で2.2ポイント悪化し、「不足感」の拡大を予想している。



## 回答企業の主なコメント

### ■ 売上高、生産量、採算、設備投資等の増減理由

#### 《製造業》

1. 新型コロナウイルスにより自動車等の動きが全てストップ。仕事も減少し3月からは毎月資金不足となっている。 <東濃・金属製品製造業>
2. 昨年夏以降から景気後退に伴い受注量が減少し始めた。1月以降はコロナ禍で国内製造業全体が全ての面で打撃を受け非常に厳しい状況にある。 <西濃・金属製品製造業>
3. 新型コロナウイルスによる景況感悪化により高級家具の需要が大幅に減少。さらに、同感染症の感染拡大を懸念して、例年全国で開催される販売催事の今年度前半部分のほとんどが中止。また、各地緊急事態宣言発令によるショールームの臨時休業や取引先からの訪問見送り要請により営業活動ができないことなどから生産調整に伴う休業実施を余儀なくされた。 <飛騨・木製家具製造業>
4. 飲食店向けに準備していた商品の行き先がなく在庫となっている。徐々に飲食店が再開しているが先行きに不安がある。輸出は米国向けが4月より止まっており、未だ再開の見通しが立っていない。資金繰りも政府の掛け声ほど当社には応えて頂けていない。全面的に大変苦しい状況が続いている。 <中濃・清酒製造業>

#### 《建設業》

1. 新型コロナウイルスにより新規の打ち合わせができない。6月より通常の打ち合わせができたとしても着工までに数ヶ月かかる。案件自体も激減している。 <岐阜・木造建築工事業>
2. 新型コロナウイルスの影響で工事が激減。現場中止、延期、現場の立ち入り禁止等々。4月～6月の売上は前年同期比50%ダウン。新築工事の受注も減少し先行きは悪い。 <岐阜・建設業>

#### 《商業》

1. リーマンショック以上の影響を受けつつ、今後の先行きが全く読めない状況が続く、本当に恐ろしい。 <岐阜・自動車小売業>
2. 3月から新型コロナウイルスの影響が出始めた。5月に入って郊外店はほぼ前年並に回復したが、駅前店舗は大きく影響を受けている。 <西濃・菓子小売業>
3. 新型コロナウイルスの影響で法事・結婚式・新築の御祝いなど、人が集まる行事の多くが中止となり売上が激減。次期も戻らないと予想。コロナ終息後も相当厳しくなる。 <東濃・その他小売業>

#### 《サービス業》

1. 新型コロナウイルスの影響で宿泊・宴会のキャンセルが相次いだ。客数増・売上増を見込んでいた郡上踊りなど夏のイベントが中止になるとさらに経営が厳しくなる。 <中濃・旅館、ホテル>
2. 新型コロナウイルスの影響により売上が90%以上減少。ほぼ売上がない状態で人件費等の経費の支払が毎月発生し、補助金・助成金の給付金だけでは資金の減少は止められず、融資で凌いでいる状況。仮に営業が再開できたとしてもコロナ以前のような売上をあげることは困難である。 <岐阜・出版業>
3. 5月の連休までは輸送量があったが、連休後荷物の量が減少。7月～9月は飛騨地方で高冷地野菜が出るのでしばらくは良くなると思うが、新型コロナウイルスの影響で中国等の外国人研修生が来日できず、作付・出荷量ともに減るだろう。 <中濃・貨物運送業>

## ■ 業界の新しい動きや課題・見通しなど

### 《製造業》

1. 受注減は当面続く見込み。少人化・自動化の推進に伴う自動化システムの新規受注が見込まれる。 <西濃・電子部品製造業>
2. 同業他社は雇用調整金を受けている。新型コロナウイルス以前から米中貿易摩擦の影響が出ていたが、コロナで一層範囲は広く、深刻度は増したように感じる。 <岐阜・鋳鉄物製造業>
3. 外出せずテレワークが増加。経費削減にはなるが、人とのつながり・絆が薄くなるような気がする。 <西濃・プラスチック日用品雑貨製造>
4. 飲食店・ホテルへの売上の比重が大きいところは大変な困難に直面している。飲食店への支援に対し、その川上に対する支援がないので、製造や卸、酒販店は新型コロナウイルスの影響を受けている。輸出に関しても同様である。 <中濃・清酒製造業>

### 《建設業》

1. 他業種とまではいかないが多角化の検討もしていかなければいけない。 <西濃・建設業>
2. 新しいビジネスモデルの模索と構築を進める必要がある。 <西濃・総合建設業>

### 《商業》

1. 店舗販売のみから EC 販売と両立できる仕組みを検討中。高額な出店・退店経費、家賃のかかるビジネスモデルは終わり。モールなどは空床が増えそう。 <岐阜・婦人服小売業>
2. 新型コロナウイルスが終息したとして、その後どれくらいの期間で消費マインドが回復するかによって対応を考えていかないといけない。 <岐阜・中古自動車小売業>
3. 消費増税で売上が下がり、回復しないまま新型コロナウイルスにより大幅な減少となった。回復には程遠く各種支援制度を利用しているものの、今後も見通しが立たないままなので対策が立てにくく大変困惑している。 <中濃・紙製品卸売業>
4. 各百貨店が EC 事業に注力しており、新型コロナウイルスによりオンラインでの買い物にシフトしている感じがする。 <岐阜・百貨店・スーパー>

### 《サービス業》

1. 景気が回復しない限り先行きは不透明。ステイホームにより宅配関係は増加しているが、メーカー依存の運送業者は稼働率が大きく低下。燃料費が下がっていることは寄与しているが、経済対策として軽油税等の減税をお願いしたい。 <中濃・一般貨物運送業>
2. 新型コロナウイルスの影響により賃料の引き下げ依頼が激しく、対応している。一部業種では賃料の延滞が発生しており、景況感は厳しくなりつつある。 <東濃・不動産賃貸業>
3. 新型コロナウイルスの影響を最初から最後まで受けることになる業界。すぐに宿泊客・宴会客は戻らないこと、営業再開に向け防疫対策等で経費が増え生産性が低下することから今後も長く影響を受けると考える。 <岐阜・旅館、ホテル>
4. 新型コロナウイルスの影響で「人材不足」から「人材の作業効率悪化の改善」に焦点が変わった。求人倍率の低下が大きく、不況感が生じるのではないかと懸念している。 <岐阜・土木建設サービス業>

## 4. 景況ヒアリング調査（定点観測）

以下は、今回の景況調査に当たり、景気の変化に敏感に反応する業種について、同一企業を継続的に個別聴取方式によりヒアリングすることで、景況の変化を調査するものである。

4月～6月期は、「製造業（金属機械）」「運送業」 7月～9月は、「広告」「紙・パルプ」を予定。

### ■ 製造業（工作機械製造）

#### <景況感・現状等>

1. 直近2020年3月の工作機械産業の受注総額は、774億円/月（前年同月比59.3%）となっており、その内、外需が432億円（同比56.3%）、内需が342億円（同比63.5%）を占めている。  
4月の速報値では、受注総額561億円、うち外需349億円、内需211億円を占めており、受注総額としては、前月比の72.5%、前年同月比51.7%であり、一般社団法人日本工作機械工業会の健全水準の目安である受注額1,000億円/月を大きく下回っている。
2. 新型コロナウイルスの影響について、工作機械業界は一般的に数か月～1年を超える納期で受注しており、その分自動車業界等よりも遅れて影響が出ている。4、5月は全世界で営業活動ができておらず、受注は低迷。昨年までに受けた納期の長い案件で生産を繋いでいる状況であり、新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかも見通しがついていないのが現状である。
3. 国内は欧米と比較し、感染者数は少ない為、商談自体は可能だったが、先が見えない状況で設備投資を先送りする顧客が多く、成約に至らない案件が多かった。

#### <海外情勢・事業戦略等>

4. コロナウイルスが広がる中でも、世界全体で最も活発に商談が行われていたのは中国である。他の地域では欧州における感染症の影響が特にひどいと感じた。
5. 為替相場について、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響による懸念はあるものの、現状は安定推移しており、業績への影響は少ない。仮にアメリカでマイナス金利が発動されたり、米中対立が激化すれば、為替が変動して工作機械業界の業績にもインパクトが有り得ると考えている。
6. IoTはやらなければ生き残れない、注力する分野である。又、自動化等へのニーズは今後も高まっていくと考えている。最終的には顧客にいかにも利益を上げて頂くか、IoTを如何に商品に活かすのか、課題となる。
7. 工作機械の中には自動車等の特定の分野に特化したものもあるが、全体としては汎用性が高く、決まった分野へ特化したものは少ない。需要の高い業種への販売を強化していくと共に、ニーズの変化に合わせた開発も行う必要がある。

#### <雇用、働き方改革等>

8. 社内の感染症対策として、自動車通勤への切替えや一部社員へはテレワークを実施させており、営業所においても自宅から直接顧客を訪問する等、移動を減らす対策をしている。
9. 大学生の新卒採用について、WEB面接を取り入れている。企業・学生双方の、感染防止及び、肉体的・精神的・金銭面の負担を軽減するという点において一定の成果があった。従って、次年度以降の活動においても、WEBの活用はある程度定着していくと考える。  
一方で、WEBを活用した就職活動は、対面での接触機会が少なくなるため学生が企業理解を深めることが難しく、不安・疑問を抱えた状態で内定承諾先を決めざるを得ない点がデメリットであると感じている。学生の不安・疑問を少しでも払拭し、彼らにとって納得の行く就職活動となるよう、会社としてサポートしていく必要がある。
10. 働き方改革について、フレックスタイム制等の利用により、有休取得率は昨年比でも上昇しており、確実に制度は浸透してきていると感じている。



## ■ 運送業

### <景況感・動向等>

1. 業界全般としては、総じて雨降り模様との判断。ここ3、4年、運賃の適正収受に対してお客様の理解を得られるようになってきており、収入自体は改善されたが、物量に関しては伸び悩み傾向にある。令和元年10月の消費増税以降鈍化が顕著となっている。さらに、令和2年2月頃から新型コロナウイルス感染症の影響が出始め、特に4月、5月は異常事態ともいえる状況となっている。
2. 人材（特に乗務員）不足は、事業者によっては顕著であり、待遇の改善を進めているにもかかわらず、「運送業離れ」は深刻であり、人件費そのもの高騰、継続雇用のための支出増が続いている。さらに物量が見通せない状況が続いており、予備体力のある事業者だけが採用できる状況になってきている。
3. 非効率な仕事に人を配置する余裕がなくなったことから、自社の得意な都合の良い荷物ばかりを集める動きが顕著になってきている。物量が伸び悩んでいることもあり、物量確保のために都合の良い荷物のみであるが、ダンピングをする特積み事業者がちらほら出てきている。
4. 中小の特積み事業者では、全国配送を謳っていても不採算地域の集配を止め、その地域から撤退する事業者もある。
5. 中小事業者では、後継者不足を理由に廃業する事業者も増えている。それにより人材不足で下請け価格が高騰している。

### <雇用・人材育成>

6. 人材不足に対応するため、将来の労働人口の減少、物量のシュリンク、今以上のニーズの多様化も見越して、長距離のトラック定期便を鉄道輸送や海上フェリーに切り替えるモーダルシフトの導入等、「効率化」ということに主眼を置いて取り組んでいる。
7. 社員の引き留めを目的に、待遇改善の一環として、休日集配の取り止め、リードタイムの延長などのサービス内容の変更を行う事業者も出ている。
8. 乗務員の将来にわたる雇用確保のために、福利厚生を更に充実させるとともに、自動車運転免許取得補助の拡大や小型車両、運転負荷軽減車両の導入等に取り組んでいるところもある。

### <その他>

9. 何とんでも、コロナの影響がいつまでどこまで続くかが懸念材料である。今後、コロナの影響が長引けば、受注減を理由とした廃業が多くなると考えられる。
10. 燃油価格の下落については歓迎すべきことではあるが、こういう事態にないと下落しないという意味においては、通常期においては高止まりが標準であるということであり、採算面でコスト高を前提に考慮しなければならない。

## (参考資料1)2020年6月調査 計数表

## 景況DI

(ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	好転	変らず	悪化	DI	好転	変らず	悪化	DI	好転	変らず	悪化	DI	
2019	1-3	11.5	49.4	39.1	-27.6	12.5	45.8	41.7	-29.2	11.0	51.2	37.8	-26.8
	4-6	8.5	45.0	46.5	-38.0	6.7	42.3	51.0	-44.3	9.5	46.5	44.0	-34.5
	7-9	8.9	43.3	47.8	-38.9	8.1	37.1	54.8	-46.7	9.3	46.7	43.9	-34.6
	10-12	7.2	41.2	51.6	-44.4	6.7	36.6	56.7	-50.0	7.4	43.3	49.3	-41.9
2020	1-3	4.8	28.6	66.6	-61.8	3.1	21.2	75.6	-72.5	5.7	32.3	62.0	-56.3
	4-6	2.6	11.3	86.0	-83.4	3.3	9.6	87.1	-83.8	2.3	12.3	85.5	-83.2
	7-9	4.5	14.9	80.6	-76.1	5.8	13.5	80.8	-75.0	3.8	15.6	80.6	-76.8

2020年7-9月は見通し、その他は実績

## 売上高DI

(ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	増加	変らず	減少	DI	増加	変らず	減少	DI	増加	変らず	減少	DI	
2019	1-3	26.9	30.4	42.7	-15.8	31.6	30.5	37.9	-6.3	24.5	30.4	45.1	-20.6
	4-6	24.1	32.8	43.0	-18.9	25.4	28.9	45.7	-20.3	23.4	35.0	41.5	-18.1
	7-9	22.1	32.7	45.1	-23.0	23.6	27.1	49.2	-25.6	21.3	35.9	42.9	-21.6
	10-12	19.1	30.0	50.9	-31.8	19.4	24.8	55.8	-36.4	19.0	32.4	48.6	-29.6
2020	1-3	13.4	25.5	61.1	-47.7	11.8	21.0	67.2	-55.4	14.1	27.8	58.1	-44.0
	4-6	7.0	10.5	82.5	-75.5	9.6	6.7	83.7	-74.1	5.7	12.4	81.8	-76.1
	7-9	3.0	11.0	86.0	-83.0	2.4	9.1	88.5	-86.1	3.3	12.0	84.8	-81.5

2020年7-9月は見通し、その他は実績

## 輸出向け売上高DI

(ポイント)

期	輸出向け				
	増加	変らず	減少	DI	
2019	1-3	11.5	68.3	20.2	-8.7
	4-6	8.2	60.0	31.8	-23.6
	7-9	5.4	67.0	27.7	-22.3
	10-12	12.4	55.1	32.6	-20.2
2020	1-3	7.9	54.4	37.7	-29.8
	4-6	5.9	40.3	53.8	-47.9
	7-9	4.2	37.5	58.3	-54.1

2020年7-9月は見通し、その他は実績

## 生産量DI

## 完成工事高

(ポイント)

期	全業種				うち 製造業				非製造業のうち 建設業のみ				
	増加	変らず	減少	DI	増加	変らず	減少	DI	増加	変らず	減少	DI	
2019	1-3	27.6	31.6	40.8	-13.2	28.0	31.7	40.2	-12.2	26.2	31.1	42.6	-16.4
	4-6	22.9	34.1	43.0	-20.1	22.4	31.6	45.9	-23.5	24.2	41.9	33.9	-9.7
	7-9	20.2	37.7	42.0	-21.8	20.4	32.7	46.9	-26.5	19.7	54.1	26.2	-6.5
	10-12	20.1	30.8	49.1	-29.0	16.7	30.2	53.1	-36.4	29.0	32.3	38.7	-9.7
2020	1-3	14.2	28.5	57.3	-43.1	11.9	23.8	64.2	-52.3	20.9	41.8	37.3	-16.4
	4-6	9.7	16.1	74.2	-64.5	8.1	12.0	79.9	-71.8	14.3	28.6	57.1	-42.8
	7-9	5.4	15.2	79.4	-74.0	2.9	11.6	85.5	-82.6	12.9	25.7	61.4	-48.5

2020年7-9月は見通し、その他は実績

## 受注量DI

(ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	増加	変らず	減少	DI	増加	変らず	減少	DI	増加	変らず	減少	DI	
2019	1-3	21.3	40.0	38.7	-17.4	26.1	33.5	40.4	-14.3	18.9	43.2	37.8	-18.9
	4-6	20.3	39.1	40.7	-20.4	21.0	29.2	49.7	-28.7	19.8	44.5	35.7	-15.9
	7-9	17.6	43.1	39.3	-21.7	19.7	31.3	49.0	-29.3	16.5	49.7	33.8	-17.3
	10-12	16.2	37.3	46.4	-30.2	16.7	23.5	59.9	-43.2	16.1	43.7	40.3	-24.2
2020	1-3	10.7	33.4	55.9	-45.2	7.8	21.9	70.3	-62.5	12.1	39.2	48.7	-36.6
	4-6	5.4	17.6	76.9	-71.5	7.1	9.5	83.3	-76.2	4.5	21.9	73.6	-69.1
	7-9	2.8	18.4	78.8	-76.0	1.9	10.6	87.5	-85.6	3.3	22.5	74.2	-70.9

2020年7-9月は見通し、その他は実績

在庫量DI (ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI	
2019	1-3	15.2	58.8	26.0	-10.8	17.5	60.7	21.9	-4.4	13.1	57.1	29.8	-16.7
	4-6	13.8	58.7	27.5	-13.7	17.3	51.3	31.4	-14.1	10.2	66.3	23.5	-13.3
	7-9	14.2	57.0	28.8	-14.6	15.7	55.0	29.3	-13.6	12.8	59.0	28.2	-15.4
	10-12	18.0	51.9	30.1	-12.1	22.0	44.7	33.3	-11.3	14.4	58.3	27.2	-12.8
2020	1-3	12.7	53.7	33.6	-20.9	16.0	51.3	32.6	-16.6	9.7	55.8	34.5	-24.8
	4-6	14.9	44.0	41.1	-26.2	18.9	42.2	38.8	-19.9	11.0	45.7	43.3	-32.3
	7-9	10.6	42.1	47.4	-36.8	14.1	39.3	46.6	-32.5	7.1	44.8	48.1	-41.0

2020年7-9月は見通し、その他は実績

製品販売価格DI (ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI	
2019	1-3	22.2	60.1	17.7	4.5	21.1	66.8	12.1	9.0	22.7	56.7	20.6	2.1
	4-6	23.1	62.6	14.3	8.8	20.3	68.0	11.7	8.6	24.6	59.7	15.7	8.9
	7-9	17.3	64.2	18.5	-1.2	16.8	63.5	19.8	-3.0	17.6	64.6	17.8	-0.2
	10-12	23.8	58.3	17.9	5.9	20.4	60.5	19.1	1.3	25.4	57.3	17.3	8.1
2020	1-3	14.5	62.4	23.1	-8.6	12.4	68.6	19.1	-6.7	15.6	59.3	25.1	-9.5
	4-6	6.2	61.9	31.9	-25.7	4.8	72.2	23.0	-18.2	7.0	56.5	36.5	-29.5
	7-9	6.1	57.6	36.3	-30.2	3.4	67.3	29.3	-25.9	7.5	52.5	40.0	-32.5

2020年7-9月は見通し、その他は実績

原材料仕入価格DI (ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI	
2019	1-3	53.0	39.5	7.5	45.5	62.4	32.3	5.3	57.1	48.1	43.2	8.6	39.5
	4-6	50.2	44.6	5.3	44.9	51.0	42.3	6.6	44.4	49.7	45.8	4.5	45.2
	7-9	41.3	51.4	7.2	34.1	46.0	46.0	8.1	37.9	38.7	54.5	6.8	31.9
	10-12	43.6	48.3	8.1	35.5	44.4	46.3	9.3	35.1	43.3	49.2	7.6	35.7
2020	1-3	36.0	54.0	9.9	26.1	35.8	53.4	10.9	24.9	36.2	54.4	9.5	26.7
	4-6	20.3	62.1	17.5	2.8	21.9	65.7	12.4	9.5	19.5	60.3	20.3	-0.8
	7-9	19.1	62.0	18.8	0.3	22.0	65.1	12.9	9.1	17.6	60.5	21.9	-4.3

2020年7-9月は見通し、その他は実績

採算DI (ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	好転	変わらず	悪化	DI	好転	変わらず	悪化	DI	好転	変わらず	悪化	DI	
2019	1-3	11.0	47.2	41.8	-30.8	12.6	48.4	38.9	-26.3	10.2	46.5	43.3	-33.1
	4-6	10.9	50.3	38.8	-27.9	12.8	48.5	38.8	-26.0	9.9	51.3	38.8	-28.9
	7-9	9.7	50.1	40.2	-30.5	11.3	47.2	41.5	-30.2	8.8	51.7	39.5	-30.7
	10-12	9.5	46.6	43.9	-34.4	11.6	45.1	43.3	-31.7	8.5	47.3	44.2	-35.7
2020	1-3	5.8	43.4	50.8	-45.0	4.1	42.0	53.9	-49.8	6.7	44.1	49.2	-42.5
	4-6	4.9	26.2	68.9	-64.0	5.7	23.4	70.8	-65.1	4.5	27.7	67.8	-63.3
	7-9	3.0	26.6	70.4	-67.4	1.4	26.4	72.1	-70.7	3.8	26.7	69.5	-65.7

2020年7-9月は見通し、その他は実績

資金繰りDI (ポイント)

期	全業種				うち 製造業				うち 非製造業				
	好転	変わらず	悪化	DI	好転	変わらず	悪化	DI	好転	変わらず	悪化	DI	
2019	1-3	7.1	72.8	20.1	-13.0	8.5	75.5	16.0	-7.5	6.4	71.5	22.1	-15.7
	4-6	7.5	74.5	18.0	-10.5	7.2	75.8	17.0	-9.8	7.6	73.8	18.6	-11.0
	7-9	6.5	74.3	19.2	-12.7	7.1	74.1	18.8	-11.7	6.2	74.4	19.4	-13.2
	10-12	7.8	69.2	23.1	-15.3	6.2	71.6	22.2	-16.0	8.5	68.1	23.4	-14.9
2020	1-3	5.5	66.0	28.5	-23.0	5.8	62.8	31.4	-25.6	5.4	67.5	27.1	-21.7
	4-6	4.4	48.8	46.8	-42.4	4.9	49.5	45.6	-40.7	4.2	48.4	47.4	-43.2
	7-9	3.0	47.9	49.2	-46.2	2.9	51.2	45.9	-43.0	3.0	46.1	50.9	-47.9

2020年7-9月は見通し、その他は実績

## 借入れ難易感DI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	容易	変らず	困難	DI	容易	変らず	困難	DI	容易	変らず	困難	DI	
2019	1-3	17.1	73.1	9.8	7.3	19.4	73.1	7.5	11.9	15.9	73.2	11.0	4.9
	4-6	17.9	71.3	10.7	7.2	18.8	71.2	9.9	8.9	17.4	71.4	11.1	6.3
	7-9	14.8	74.3	10.9	3.9	16.0	75.3	8.8	7.2	14.1	73.8	12.1	2.0
	10-12	16.1	73.5	10.4	5.7	16.8	70.8	12.4	4.4	15.8	74.8	9.5	6.3
2020	1-3	14.7	72.4	12.9	1.8	12.8	73.4	13.8	-1.0	15.6	71.9	12.5	3.1
	4-6	20.5	64.4	15.1	5.4	21.9	64.7	13.4	8.5	19.8	64.3	15.9	3.9
	7-9	13.5	63.4	23.1	-9.6	14.1	64.8	21.1	-7.0	13.2	62.6	24.2	-11.0

2020年7-9月は見通し、その他は実績

## 設備投資実施

(%)

期	全業種		うち製造業		うち非製造業		
	ある	なし	ある	なし	ある	なし	
2019	1-3	30.5	69.5	39.8	60.2	25.7	74.3
	4-6	31.2	68.8	35.1	64.9	29.1	70.9
	7-9	32.8	67.2	40.7	59.3	28.4	71.6
	10-12	35.0	65.0	46.0	54.0	29.8	70.2
2020	1-3	30.4	69.6	38.9	61.1	26.2	73.8
	4-6	27.3	72.7	33.0	67.0	24.2	75.8
	7-9	24.5	75.5	31.4	68.6	20.9	79.1

2020年7-9月は見通し、その他は実績

## 設備投資意欲DI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	上昇	変らず	下降	DI	上昇	変らず	下降	DI	上昇	変らず	下降	DI	
2019	1-3	8.1	65.6	26.3	-18.2	11.1	66.1	22.8	-11.7	6.6	65.3	28.1	-21.5
	4-6	9.0	60.2	30.8	-21.8	8.8	60.1	31.1	-22.3	9.1	60.3	30.6	-21.5
	7-9	8.0	60.4	31.5	-23.5	9.8	54.9	35.2	-25.4	7.0	63.6	29.4	-22.4
	10-12	5.5	61.7	32.8	-27.3	6.9	58.5	34.6	-27.7	4.9	63.1	32.0	-27.1
2020	1-3	6.2	49.3	44.5	-38.3	5.3	47.1	47.6	-42.3	6.6	50.4	43.0	-36.4
	4-6	3.0	27.5	69.5	-66.5	1.9	25.7	72.3	-70.4	3.6	28.4	68.0	-64.4
	7-9	3.7	30.1	66.2	-62.5	3.4	31.1	65.5	-62.1	3.9	29.5	66.6	-62.7

2020年7-9月は見通し、その他は実績

## 雇用状況DI

(ポイント)

期	全業種				うち製造業				うち非製造業				
	過剰	変らず	不足	DI	過剰	変らず	不足	DI	過剰	変らず	不足	DI	
2019	1-3	3.6	47.2	49.3	-45.7	4.2	50.3	45.5	-41.3	3.2	45.6	51.2	-48.0
	4-6	3.3	49.5	47.2	-43.9	5.6	54.6	39.8	-34.2	2.0	46.8	51.3	-49.3
	7-9	5.1	50.5	44.4	-39.3	9.6	52.5	37.9	-28.3	2.6	49.3	48.1	-45.5
	10-12	4.9	51.6	43.6	-38.7	10.5	58.6	30.9	-20.4	2.3	48.3	49.4	-47.1
2020	1-3	7.6	53.7	38.7	-31.1	12.5	58.9	28.6	-16.1	5.2	51.2	43.7	-38.5
	4-6	21.7	57.3	21.0	0.7	35.7	52.9	11.4	24.3	14.2	59.6	26.1	-11.9
	7-9	18.8	60.8	20.3	-1.5	34.5	55.3	10.2	24.3	10.5	63.8	25.7	-15.2

2020年7-9月は見通し、その他は実績

## \*DIについて

DI (ディフュージョンインデックス) とは、各項目の選択肢の良い (好転・増加・上昇等) グループの百分構成比から悪い (悪化・減少・低下等) グループの百分構成比を差し引いて求めたもの。

例えば、景況DIのマイナスが大きくなると、景況感が悪いことを示しているが、変化の方向性をとらえ、傾向を見るという観点で、過去の期や次期との変化度 (差分) を求め、分析に利用しています。

今期トレンドシート(前期との差分)

\*「仕入価格」は「前期との差分」が「プラス」は「悪化」、「マイナス」は「改善」を意味している。

令和2年4-6月期		1	2	3	4	5	6	7	8						
		景況	売上高	輸出	生産量	受注量	在庫量	販売価格	仕入価格	採算	資金繰り	借入れ難易感	設備投資実施	設備投資意欲	雇用
製造・非製造	合計	-21.6	-27.8	-18.1	-21.4	-26.3	-5.3	-17.1	-23.3	-19.0	-19.4	3.6	-3.1	-28.2	31.8
	製造業	-11.3	-18.7	-18.1	-19.5	-13.7	-3.3	-11.5	-15.4	-15.3	-15.1	9.5	-5.9	-28.1	40.4
	非製造業	-26.9	-32.1		-26.4	-32.5	-7.5	-20.0	-27.5	-20.8	-21.5	0.8	-2.0	-28.0	26.6
4区分	製造業	-11.3	-18.7	-18.1	-19.5	-13.7	-3.3	-11.5	-15.4	-15.3	-15.1	9.5	-5.9	-28.1	40.4
	建設業	-34.9	-26.7		-26.4	-18.1	-8.4	-6.7	-15.3	-10.7	-5.6	8.1	-11.2	-42.6	21.9
	商業	-19.4	-23.7			-27.4	-7.5	-21.1	-27.2	-14.1	-17.9	1.5	2.1	-16.9	28.1
	サービス業	-30.3	-40.9			-42.3		-24.3	-32.4	-30.1	-30.6	-2.8	-2.0	-31.9	27.3
業種別	食品	-12.7	-9.6	-67.1	-44.0	-19.6	0.0	-21.7	4.2	-42.7	-22.9	19.8	-13.3	-38.2	31.8
	繊維・衣服	-15.0	11.1	-54.0	20.6	-1.6	41.8	-52.4	-39.7	-13.5	-9.5	24.6	-6.4	-43.9	22.2
	木材・家具	-35.7	-35.7	-33.4	-18.6	-15.7	-13.5	-21.4	-32.8	-7.1	-35.7	8.4	-1.4	-16.3	65.1
	紙・パルプ・印刷	-1.8	-18.4	28.6	-39.8	-29.3	-27.1	0.8	-33.0	-8.5	-4.4	27.8	-12.8	-22.3	43.0
	化学・プラスチック	-17.9	-39.9	-7.8	-35.7	-26.8	-24.7	4.9	4.4	-27.5	-23.9	13.5	2.7	-31.5	59.6
	窯業土石	-2.8	-4.9	7.6	-7.7	7.2	8.9	-17.4	-26.8	16.2	-21.5	-6.0	11.0	-15.7	17.0
	金属製品	-11.4	-32.1	-5.7	-23.3	-18.7	3.9	0.9	-3.2	-25.2	-12.1	-7.1	-6.7	-29.7	48.7
	機械	-9.3	-17.6	-19.0	-11.7	-8.4	-6.9	-4.4	-11.3	-11.6	-9.3	6.3	-13.5	-27.0	40.2
	建設	-34.9	-26.7		-26.4	-18.1	-8.4	-6.7	-15.3	-10.7	-5.6	8.1	-11.2	-42.6	21.9
	運輸・通信	-22.4	-34.8			-41.9		-33.7	-60.4	-43.2	-44.7	-14.7	5.2	-19.0	36.4
	卸売	-23.4	-13.8			-29.8	-7.9	-21.0	-21.6	-22.5	-14.8	0.0	0.6	-29.3	10.7
	小売	-15.1	-25.1			-23.5	-4.7	-20.0	-30.6	-4.7	-14.7	3.7	-0.9	-10.9	33.8
	飲食店	-30.8	-46.2			-38.5	-16.6	-32.7	-29.3	-38.5	-40.0	-3.4	22.1	-14.9	52.5
	サービス(余暇関連)	-35.5	-52.4			-48.4		-36.7	-47.5	-29.3	-49.3	16.5	-5.4	-36.6	62.2
	サービス(企業関連)	-31.3	-40.1			-40.2		-18.0	-21.2	-26.1	-21.7	-3.6	-3.2	-34.8	16.6

今期トレンドシート(原数値)

\*「仕入価格」は「前期との差分」が「プラス」は「悪化」、「マイナス」は「改善」を意味している。

令和2年4-6月期		1	2	3	4	5	6	7	8						
		景況	売上高	輸出	生産量	受注量	在庫量	販売価格	仕入価格	採算	資金繰り	借入れ難易感	設備投資実施	設備投資意欲	雇用
製造・非製造	合計	-83.4	-75.5	-47.9	-64.5	-71.5	-26.2	-25.7	2.8	-64.0	-42.4	5.4	27.3	-66.5	0.7
	製造業	-83.8	-74.1	-47.9	-71.8	-76.2	-19.9	-18.2	9.5	-65.1	-40.7	8.5	33.0	-70.4	24.3
	非製造業	-83.2	-76.1		-42.8	-69.1	-32.3	-29.5	-0.8	-63.3	-43.2	3.9	24.2	-64.4	-11.9
4区分	製造業	-83.8	-74.1	-47.9	-71.8	-76.2	-19.9	-18.2	9.5	-65.1	-40.7	8.5	33.0	-70.4	24.3
	建設業	-64.8	-41.4		-42.8	-47.1	-20.9	-16.9	26.8	-32.4	-5.6	24.0	20.6	-48.6	-26.7
	商業	-91.8	-85.9			-77.0	-37.7	-32.2	-15.5	-70.7	-52.4	-4.2	18.9	-71.8	-3.4
	サービス業	-83.5	-81.4			-71.0		-32.2	0.5	-69.4	-50.3	2.3	29.8	-64.8	-13.1
業種別	食品	-82.7	-69.6	-57.1	-74.0	-69.6	0.0	-21.7	39.2	-82.7	-47.9	14.3	21.7	-68.2	21.8
	繊維・衣服	-100.0	-55.6	-42.9	-55.6	-66.6	11.8	-33.3	22.2	-61.1	-33.3	5.5	22.2	-88.9	22.2
	木材・家具	-85.7	-85.7	-66.7	-78.6	-85.7	-35.7	-21.4	7.2	-57.1	-35.7	8.4	28.6	-53.8	42.9
	紙・パルプ・印刷	-68.4	-68.4	0.0	-84.2	-73.7	-38.8	-15.8	-5.2	-47.3	-21.1	38.9	31.6	-61.1	26.3
	化学・プラスチック	-87.5	-83.4	-61.1	-79.2	-83.4	-33.4	-12.5	0.0	-66.6	-50.0	4.4	37.5	-75.0	29.2
	窯業土石	-81.9	-59.1	-31.3	-61.9	-63.6	-4.8	-9.1	27.3	-54.6	-47.6	-19.0	31.8	-63.6	4.5
	金属製品	-83.9	-83.9	-43.8	-61.3	-77.4	-6.5	-12.9	-3.2	-70.0	-50.0	6.7	45.2	-74.2	12.9
	機械	-82.8	-77.6	-51.2	-76.3	-81.3	-34.5	-20.7	3.3	-67.8	-36.9	10.4	34.5	-70.7	32.2
	建設	-64.8	-41.4		-42.8	-47.1	-20.9	-16.9	26.8	-32.4	-5.6	24.0	20.6	-48.6	-26.7
	運輸・通信	-82.4	-76.5			-62.5		-28.2	-24.3	-76.5	-53.0	-9.1	44.1	-64.7	-21.9
	卸売	-95.8	-81.2			-61.7	-34.0	-12.5	10.4	-68.1	-40.4	4.4	13.6	-81.4	-6.4
	小売	-88.0	-85.9			-81.2	-34.5	-44.7	-31.8	-66.6	-51.1	-6.2	18.1	-67.5	-3.6
	飲食店	-100.0	-100.0			-100.0	-66.6	-25.0	-6.2	-100.0	-93.8	-18.8	37.5	-68.7	6.3
	サービス(余暇関連)	-96.4	-96.4			-96.4		-60.7	-3.5	-89.3	-89.3	4.0	32.1	-84.6	3.9
	サービス(企業関連)	-80.8	-79.4			-67.2		-26.7	8.4	-62.8	-40.5	5.0	25.2	-60.5	-14.4

来期トレンドシート(今期との差分)

\*「仕入価格」は「前期との差分」が「プラス」は「悪化」、「マイナス」は「改善」を意味している。

令和2年7-9月期		1	2	3	4	5	6	7	8						
		景況	売上高	輸出	生産量	受注量	在庫量	販売価格	仕入価格	採算	資金繰り	借入れ難易感	設備投資実施	設備投資意欲	雇用
製造・非製造	合計	7.3	-7.5	-6.2	-9.5	-4.5	-10.6	-4.5	-2.5	-3.4	-3.8	-15.0	-2.8	4.0	-2.2
	製造業	8.8	-12.0	-6.2	-10.8	-9.4	-12.6	-7.7	-0.4	-5.6	-2.3	-15.5	-1.6	8.3	0.0
	非製造業	6.4	-5.4		-5.7	-1.8	-8.7	-3.0	-3.5	-2.4	-4.7	-14.9	-3.3	1.7	-3.3
4区分	製造業	8.8	-12.0	-6.2	-10.8	-9.4	-12.6	-7.7	-0.4	-5.6	-2.3	-15.5	-1.6	8.3	0.0
	建設業	-7.0	-13.5		-5.7	-5.0	-10.4	-1.4	-21.2	-8.5	-9.9	-11.1	-4.9	-5.7	-4.7
	商業	4.9	-4.8			-0.9	-7.7	-2.1	4.7	-0.4	-7.7	-12.4	-7.1	0.4	-0.8
	サービス業	13.2	-3.0			-1.6		-4.4	-3.3	-1.9	-0.3	-18.2	0.4	5.8	-4.5
業種別	食品	8.7	-17.4	-14.3	-4.3	-13.1	-17.4	-4.4	-21.8	4.4	4.4	-14.3	23.8	16.0	1.0
	繊維・衣服	0.0	-44.4	0.0	-44.4	-33.4	-28.5	0.0	0.0	-16.6	0.0	-27.7	1.3	5.6	0.0
	木材・家具	7.1	7.1	-33.3	0.0	7.1	-28.6	-7.2	-7.2	0.0	0.0	-8.4	7.1	7.7	10.9
	紙・パルプ・印刷	0.0	-21.1	-20.0	-5.3	-15.8	0.0	5.3	15.7	-0.1	-10.5	-28.3	-15.8	0.0	-10.5
	化学・プラスチック	12.5	-4.1	-3.6	-8.3	-3.6	0.1	-16.7	-8.3	-8.4	0.0	-13.1	-4.2	8.4	4.2
	窯業土石	-4.5	-18.2	-25.0	-9.5	-13.7	-23.8	-13.6	9.1	-18.1	0.0	0.0	-13.6	0.0	4.6
	金属製品	9.8	0.0	4.9	-16.1	-6.5	-25.8	-6.4	3.2	3.3	-6.7	-16.7	-12.9	3.2	-3.2
	機械	17.9	-8.6	-1.3	-6.2	-4.9	-0.6	-10.9	1.9	-8.1	-2.3	-15.7	1.7	14.6	-0.6
	建設	-7.0	-13.5		-5.7	-5.0	-10.4	-1.4	-21.2	-8.5	-9.9	-11.1	-4.9	-5.7	-4.7
	運輸・通信	10.5	-2.3			-3.2		-3.1	24.3	11.8	6.0	-12.1	5.9	1.1	-3.9
	卸売	6.2	-12.6			-2.1	-2.2	-10.5	-4.2	-8.0	-12.8	-13.3	-2.5	3.6	2.2
	小売	3.7	-1.3			-0.2	-13.1	3.5	9.4	2.3	-7.7	-5.3	-6.1	3.6	-6.3
	飲食店	7.1	0.0			0.0	2.3	-6.2	6.2	6.7	6.3	-43.7	-25.0	-31.3	20.4
	サービス(余暇関連)	18.6	-3.6			0.0		0.0	0.0	3.6	7.2	-16.0	0.0	0.0	-11.3
	サービス(企業関連)	12.7	-2.8			-1.5		-5.8	-11.8	-7.0	-3.6	-20.3	-1.3	8.8	-3.4

来期トレンドシート(原数値)

\*「仕入価格」は「前期との差分」が「プラス」は「悪化」、「マイナス」は「改善」を意味している。

令和2年7-9月期		1	2	3	4	5	6	7	8						
		景況	売上高	輸出	生産量	受注量	在庫量	販売価格	仕入価格	採算	資金繰り	借入れ難易感	設備投資実施	設備投資意欲	雇用
製造・非製造	合計	-76.1	-83.0	-54.1	-74.0	-76.0	-36.8	-30.2	0.3	-67.4	-46.2	-9.6	24.5	-62.5	-1.5
	製造業	-75.0	-86.1	-54.1	-82.6	-85.6	-32.5	-25.9	9.1	-70.7	-43.0	-7.0	31.4	-62.1	24.3
	非製造業	-76.8	-81.5		-48.5	-70.9	-41.0	-32.5	-4.3	-65.7	-47.9	-11.0	20.9	-62.7	-15.2
4区分	製造業	-75.0	-86.1	-54.1	-82.6	-85.6	-32.5	-25.9	9.1	-70.7	-43.0	-7.0	31.4	-62.1	24.3
	建設業	-71.8	-54.9		-48.5	-52.1	-31.3	-18.3	5.6	-40.9	-15.5	12.9	15.7	-54.3	-31.4
	商業	-86.9	-90.7			-77.9	-45.4	-34.3	-10.8	-71.1	-60.1	-16.6	11.8	-71.4	-4.2
	サービス業	-70.3	-84.4			-72.6		-36.6	-2.8	-71.3	-50.6	-15.9	30.2	-59.0	-17.6
業種別	食品	-74.0	-87.0	-71.4	-78.3	-82.7	-17.4	-26.1	17.4	-78.3	-43.5	0.0	45.5	-52.2	22.8
	繊維・衣服	-100.0	-100.0	-42.9	-100.0	-100.0	-16.7	-33.3	22.2	-77.7	-33.3	-22.2	23.5	-83.3	22.2
	木材・家具	-78.6	-78.6	-100.0	-78.6	-78.6	-64.3	-28.6	0.0	-57.1	-35.7	0.0	35.7	-46.1	53.8
	紙・パルプ・印刷	-68.4	-89.5	-20.0	-89.5	-89.5	-38.8	-10.5	10.5	-47.4	-31.6	10.6	15.8	-61.1	15.8
	化学・プラスチック	-75.0	-87.5	-64.7	-87.5	-87.0	-33.3	-29.2	-8.3	-75.0	-50.0	-8.7	33.3	-66.6	33.4
	窯業土石	-86.4	-77.3	-56.3	-71.4	-77.3	-28.6	-22.7	36.4	-72.7	-47.6	-19.0	18.2	-63.6	9.1
	金属製品	-74.1	-83.9	-38.9	-77.4	-83.9	-32.3	-19.3	0.0	-66.7	-56.7	-10.0	32.3	-71.0	9.7
	機械	-64.9	-86.2	-52.5	-82.5	-86.2	-35.1	-31.6	5.2	-75.9	-39.2	-5.3	36.2	-56.1	31.6
	建設	-71.8	-54.9		-48.5	-52.1	-31.3	-18.3	5.6	-40.9	-15.5	12.9	15.7	-54.3	-31.4
	運輸・通信	-71.9	-78.8			-65.7		-31.3	0.0	-64.7	-47.0	-21.2	50.0	-63.6	-25.8
	卸売	-89.6	-93.8			-63.8	-36.2	-23.0	6.2	-76.1	-53.2	-8.9	11.1	-77.8	-4.2
	小売	-84.3	-87.2			-81.4	-47.6	-41.2	-22.4	-64.3	-58.8	-11.5	12.0	-63.9	-9.9
	飲食店	-92.9	-100.0			-100.0	-64.3	-31.2	0.0	-93.3	-87.5	-62.5	12.5	-100.0	26.7
	サービス(余暇関連)	-77.8	-100.0			-96.4		-60.7	-3.5	-85.7	-82.1	-12.0	32.1	-84.6	-7.4
	サービス(企業関連)	-68.1	-82.2			-68.7		-32.5	-3.4	-69.8	-44.1	-15.3	23.9	-51.7	-17.8